



都上りの詩篇
詩篇123篇

詩123

2012.12.11

1-2 a 天に座するに目 / 女隷の目が主人の手 / 女隷の目が女主人の手 / 主に目 - あゆみゆきまど
3-4 a あゆみゆきまど / あゆみゆきまど / b 上げゆきまど飽きる / b 上げゆきまど飽きる

1-2 天の御座 主人の手 3-4 主 高ぶる者 天の御座について
目 ↑ あゆみ 目 ↓ (?) ↓ あゆみ ↓ 上げゆきまど飽きる H7646
我々 主の手 我々 我々

ネハミヤ1: 主の手を祈り、「天の御座」
ダニエル2:18 天の神にあゆみゆきまど
ダニエル9: 主の手を祈り

Ps104:27.28 主は手を開いて、良いものを満らす(飽きる) H7646
Ps145:15.16 目は待ち望む、食物を与え、手を開き、願いを満らす H7646

あゆみ - H2603 ハンフ H2584 エリヤの祈り(2コリ2:12-17) はしたぬ、不妊(恥)は可わしめさ(1コリ) 願いが満たれた、胎に突、 H4E1L
エリヤの祈り(3コリ) H4E1L
エリヤの祈り(3コリ) H4E1L
マリア はしたぬの祈り、あゆみ、あゆみ、1:48 主は目とめを
マリア、あゆみ

詩篇123篇、都上りの詩篇の4番目。

「天の御座についておられる方に目を上げる」というところから始まります。121篇は「助けが来る天地を造られた主に主がおられる山に向かって目を上げる」というところから始まっていますので、121篇、次に123篇という並行を見なければなりません。

全体としては、1から2と、3から4。1から2には、「目を上げて憐れみを求めること」。3から4は、「高ぶる者たちの蔑みに対して、主が憐れんでくださることを求めている」という構造になっていますね。

1から2は、abba。目が4回出てきますね。目目目目。3から4は、憐れみ、憐れみ、蔑みで飽き足りる、蔑みで飽き足りるというaabbというような構造になっていますね。1から2のところ、登場人物は、天におられる主と我々、主人としもべ。3から4は、主と我々、高ぶる者と我々ということなのです。

この中で、主から憐れみを求めるというところはそうなのですが、奴隷が、しもべが、主人の手を見ているというところは、どういう意味なんだろうかと考えることは、この詩篇の内容を把握する上で大切です。詩篇104篇、145篇にあるように、主は御手を開いて私たちに満たしてください。この「満たしてください」という言葉は、蔑みで「もういっぱいです」の言葉と同じ言葉です。良いもので満たしてください。145篇だと、私たちの目は主を待ち望む。食べ物を与えてくださるから、その主は御手を開いて願いを満たしてくださいということで、104篇、145篇を見れば、しもべが主人の手を見ているというものは、その御手から良いもの、食べ物、願いが満たされるということを表しているものだと思いますね。それが憐れみの具体的なものだということです。

この憐れみという言葉自身は、ハンナという名前と同じです。この名前は憐れみという言葉の意味になっています。恵み、憐れみ。このハンナのストーリーを見ると、この123篇の願いが満たされることを、憐れみを求めることが、もっと具体的に分かるということです。ハンナは、はしためで、女しもべで、不妊で、辱め蔑まれていた。しかし、願いが聞かれて、胎に実が宿りました。胎が満たされたということですね。

ハンナを引用しているエリサベツ、マリヤ、ザカリヤというルカ福音書のストーリーも見なければいけません。エリサベツのところを見れば、願いが聞かれてヨハネが与えられた。ヨハネは、ハンナの名前の男の人バージョンなんですかね。ヨハンナですね。そして聖霊で満たされました。マリアは、はしための祈りということで、女奴隷の祈りをして、憐れみを求めます。主は、そのはしために目を留めてくださった。ザカリヤも憐れみを喜ぶ祈りをしています。その憐れみに満たされること。それが、このしもべが主人に願っていることであるということです。ハンナの時代のエリの息子たちは、貪って、いけにえを奪って、まさにこの高ぶる者たちが蔑みで自分たちをお腹いっぱいにしていくというストーリーになっているのが、第1サムエル2章にありますね。

もう一つ「天の御座についておられる方よ」という言い方は、ネヘミヤ、エズラ、ダニエルのあたりに、バビロンから戻ってきた後の神様を呼ぶ呼び方で「天の神」という言い方がありますので、そこも連想すると。ネヘミヤも、ダニエルも、しもべの祈りというものを捧げていますので、その天の神に憐れみを請うということは、この天の御座があるエルサレムがもう一度建て上げられるというストーリー。そのエルサレムに戻りたい、シオンに戻りたいというストーリーと一緒に考えるように導かれているものだと思います。